

会員の皆様、

先日当会議所が出展したEXPART EXPO TOKYOにご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

CCBJのブースにはコロリーダス、ドリンク・オブ・ブラジル、フローラズル、イマイグループ、シモンセンの各社にご出展いただきました。

今年もCCBJでは皆様との親睦を図るべく忘年会を開催いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

今月号では先日在東京ブラジル総領事として着任されたアンドレ・シェルモン・デ・リマ総領事に、在日ブラジル人コミュニティの起業意識などについてご寄稿いただきました。

またブラジル産のコバルト鉱石や、ブラジルを訪れる外国人観光客、2025年大阪万博に設置予定のブラジルパビリオンに関する記事も掲載されていますのでご覧ください。

それではどうぞよろしくお願いします。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

アンドレ・シェルモン・デ・リマ在東京ブラジル総領事からのメッセージ

CCBJニュースレターの読者の皆様、初めまして。つい先日在東京ブラジル総領事館に着任したばかりですが、この短期間に在日ブラジル人コミュニ

ティの起業意識の高さと活力を実感することができました。群馬県や茨城県、埼玉県を短時間訪問しただけでも、同胞の皆様が経営するお店や会社の存在は一目瞭然です。この種のビジネスは、一説によると約5000社にも上るとも言われており、会社や文化団体、農業生産者、NGO、コンサルティングサービス、各種講座、教育機関などからなる多種多様なネットワークの顔となっています。

起業を成功させる鍵は、若者への投資と教育的、文化的、心理的な準備、職業訓練などにあると信じています。在日ブラジル人コミュニティが現在この国で直面している変革の時代は、青少年や社会人になりたての若者に対して新たな課題を課すものです。在日ブラジル人コミュニティが今よりも人口が多く、より若く、よりブラジルのだった時代がありましたが、今日では日本社会に溶け込む必要性が喫緊の課題となっています。また、コミュニティの成熟に伴い、ビジネスや就業の機会も変化します。現在はポルトガル語だけでコミュニケーションをとり、在日ブラジル人向けのビジネスで生計を立てる孤立した集団の中で生きていくことはますます難しくなっています。

その一方で、ブラジル人であることは避けられない条件であり、遠く離れたブラジルの文化を継承し大切にしよう促す原動力となっています。我々も子供や若者がアイデンティティを失い、根無し草のように育つことを懸念しています。彼らの両親の多くは日系人であり、祖先である日本人の文化を忘れないようにと言われて育った人たちです。彼らは今こそ自分の知的、道徳的価値観の形成過程において、ブラジルがどのような意味を持っていたかを振り返ってみるべきです。

そのためにも、各地のブラジル領事館と駐日ブラジル大使館は、ブラジル人学校のネットワークを重視しています。在東京ブラジル領事館の管轄区域内だけでも、15校のブラジル人学校があり、そのうち7校はブラジル教育省（MEC）から認可を受けています。私たちは、日本であれブラジルであれ、彼らが最も魅力を感じる職業に就くことができるよう、健全な環境の中で質の高いバイリンガル教育を受けられるように努めてきました。2022年と2023年には、領事館は「ポルトガル語オリンピック」、「ポルトガル語選手権」、写真コンテスト、「ブラジル・グラン・シェフ」など5つのコンテス

トを開催し、ブラジル人学校の生徒や学生を中心に約650名が応募しました。来年はさらに規模を拡大して開催したいと考えています。

青少年の教育文化を優先させる上で、SABJA（在日ブラジル人を支援する会）、ABCジャパン、ブラジル日本文化福祉協会（文協）のように在日ブラジル人コミュニティの献身的なメンバーが率いるNGOや各種団体との緊密な協力は必要不可欠です。

約6万人の在日ブラジル人が暮らす17都道府県を管轄する在東京ブラジル総領事館の日常業務は、一般にはあまり知られていないこうした側面に加え、公証業務や在日ブラジル人支援という領事館の業務の「DNA」を構成する仕事から成っています。領事館業務への要求や課題は尽きませんが、在日ブラジル人起業家のエネルギーとダイナミズムが新しい世代に受け継がれ、彼らが領事館のたゆまぬサポートを支えにしてくれることを願っています。

ブラジル産の鉱物コバルト

航空機のタービンや電気自動車のエンジン、電子機器などに含まれるコバルトは、ブラジルの経済発展にとって戦略的な意味を持つ鉱物の一つとなっています。コバルト鉱石は非鉄金属（または金属元素）であり、自然界では、鉛、銅、スズ、ニッケル、プラチナ、銀、金、マンガン、パラジウムなどの鉱石に含まれています。

ブラジル鉱業監督庁（ANM）のデータによると、ブラジルのコバルト埋蔵量は7万トンで、世界の埋蔵量ランキングでは9位を占めています。州別ではミナス・ジェライス州、ゴイアス州、サンパウロ州などに多く埋蔵されています。世界銀行によると、コバルトの世界的需要は2025年までに585%増加すると予想されています。

詳細はこちら：<https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202311/da-turbina-do-aviao-ao-motor-eletrico-cobalto-e-mais-um-mineral-estrategico-para-o-brasil>

出所：鉱山エネルギー省

ブラジル観光公社のデータポータルで外国人観光客の動向データ可視化

ブラジル観光公社 (EMBRATUR)のデータポータルに、ブラジルを訪れる外国人観光客に関する包括的な情報を表示するパネルが導入されます。新たなツールで表示されるようになるのはForwardKeysプラットフォームから収集されたデータで、ブラジルに空路で到着する観光客に関するものです。前売り航空券の購入時期や旅行理由、滞在期間、入国空港、最終目的地までの乗り継ぎ回数などに関する情報を州ごとに表示できます。

詳細はこちら：<https://dados.embratur.com.br/inicio/jornada-dos-turistas>

出所：EMBRATUR

ブラジル 2025年大阪万博に出展

ブラジルは2025年4月13日から10月13日まで開催予定の大阪万博に出展します。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした今回の万博で、ブラジルは地球の持続可能性に焦点を当てたパビリオンを設置し、アマゾン地方の「空飛ぶ川」現象を体感できる展示などを行う予定です。ブラジルパビリオンはブラジル輸出投資振興局 (Apex-Brasil) が主体となって出展します。